

## 財務の概況

## —大谷大学・大谷大学短期大学部 2011 年度決算—

2011 年度決算は、公認会計士および監事の監査を経て、2012 年 5 月 26 日に開催された学校法人真宗大谷学園理事会・評議員会において承認されました。

本学の会計は、公認会計士による監査を定期的に受けて処理されています。また、計算書類は、「学校法人会計基準」に従って、「資金収支計算書」「消費収支計算書」「貸借対照表」を作成しており、毎年、決算承認後、文部科学大臣に届け出ています。

## ■資金収支計算書■

資金収支計算書は、その年度の教育研究等の諸活動に対応する資金の収入と支出のほか、その年度内において現実に収納し、また支払った資金の収入と支出について、その顛末を明らかにするものです。

したがって、資金収入には、授業料や入学検定料、寄付金、国からの補助金のほか、次年度の授業料等の前受金なども含まれます。資金支出には、人件費や教育研究にかかる経費、学生募集・広報など管理部門にかかる経費、借入金返済支出、施設関係支出、設備関係支出などが含まれます。

## 資金収支の概況

資金収支計算書に基づいて、概要を説明いたします。

2011 年度の収入（「収入の部合計」－「前年度繰越支払資金」）は 49 億 3300 万円、支出（「支出の部合計」－「次年度繰越支払資金」）は 52 億 6000 万円となりました。

収入の部では、学生生徒等納付金収入が前年度比 0.3%減の 39 億 5800 万円となりました。手数料収入は、昨年度比 19.9%減の 1 億 200 万円となりました。これは、手数料収入の大半を占める入学検定料収入が減収となったためです。寄付金収入は、昨年度比 3.1%増の 1 億 8300 万円となりました。名誉教授の雲井昭善先生より奨学金として活用するようのご意向で 2000 万円のご寄付をいただきました。補助金収入では、2.0%増の 4 億 3900 万円となりました。資産運用収入では、前年度比 2.1%減の 1 億 7100 万円となりました。学外にある土地等の売却による資産売却収入が 750 万円となりました。公開講座や受託研究による事業収入は、前年度比 7.3%減の 4300 万円となりました。

支出の部では、退職金の 1 億 2800 万円を除くと、教員人件費で 3.6%増の 15 億 6100 万円、職員人件費で 0.1%の微減の 9 億 8400 万円となっています。

学生の教育研究および学生生活にかかわる教育研究経費は、前年度比 2.2%の増で 11 億 1900 万円となりました。国際交流科目での語学研修や就職支援のための経費、教職支援や実習支援に関する経費が含まれます。また、2012 年 4 月から導入した Web 聴講登録の構築に関わる支出が含まれています。

総務、経理、学生募集やその他広報に関する管理経費は、前年度比 2.7%減の 4 億 2500 万円となりました。広報費等の減額により経費削減となっています。

施設関係支出では、学生生活の環境改善及びバリアフリー化のためのトイレの改修等で 3700 万円の支出となりました。

設備関係支出では、教育研究用機器備品支出が 6800 万円となりました。図書支出では、図書館や博物館の資料を主として 7600 万円ほどを支出しています。

資産運用支出では、将来の校舎の整備や教育研究に使用する機器の更新のためなどに 7 億円を積み立てています。

また、前述した雲井先生からの 2000 万円のご寄付は「雲井奨学金引当特定資産」に繰入れ、次年度以降の奨学金の資金とさせていただきますことを予定しています。

## 2011年度資金収支計算書

(2011年4月1日～2012年3月31日)

(単位 円)

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
学生生徒等納付金収入	3,958,444,000	人件費支出	2,672,843,682
手数料収入	101,564,200	教育研究経費支出	1,119,002,894
寄付金収入	182,820,000	管理経費支出	424,904,096
補助金収入	438,827,050	借入金等利息支出	20,997,900
国庫補助金収入	438,504,000	分担金支出	12,000,000
地方公共団体補助金収入	323,050	借入金等返済支出	111,100,000
資産運用収入	170,886,299	施設関係支出	37,200,865
資産売却収入	7,500,000	設備関係支出	151,033,762
事業収入	43,236,326	資産運用支出	720,560,000
雑収入	146,322,858	その他の支出	73,303,438
前受金収入	652,264,000		
その他の収入	53,452,477		
資金収入調整勘定	△ 822,032,000	資金支出調整勘定	△ 82,798,711
前年度繰越支払資金	7,261,947,563	次年度繰越支払資金	6,935,084,847
収入の部合計	12,195,232,773	支出の部合計	12,195,232,773

## ■消費収支計算書■

消費収支計算書は、授業料や寄付金など負債とならない収入（帰属収入）と、施設・設備関係の減価償却額や資産の除却額などを含む、その年度に消費する支出（消費支出）との内容及び均衡の状態を明らかにするものです。すなわち、その年度の負債以外の収入と、人件費や諸経費などのいわゆるコストを比べ、バランスが取れているかどうかを見るためのものです。

教育研究を提供する学校法人は、学校を永続的に維持する責任がより一層求められています。そのためには、資金収支の整合性が取れているだけでなく、帰属収入から必要な資産を継続的に保持するために組入れる基本金への組入額を引いた額（消費収入）と、消費支出とのバランスを見ることによって、当該年度だけでなく、将来的な財政の健全性を見るのが重要になってきます。この点、資金収支計算書に比べて消費収支計算書は、長期的な観点をもっているものといえます。

### 消費収支の概況

資金収支計算書と重複する項目を除いて説明します。

収入では、寄付金のなかに現物寄付金として現物を金額換算した 2000 万円が含まれています。これには、教育後援会から寄贈をいただいた教室の AV 機器や至誠館の証紙券売機等も含まれています。

支出では、教育研究経費と管理経費の中に含まれる減価償却額が、教育では 5 億 5100 万円、管理では 2200 万円となっています。また、資産処分差額として、学外の土地・建物を一部売却しましたので、その除却額と、古い機材等を処分した除却額を合わせて 700 万円を支出しています。

消費支出の部合計では、前年度比 2.7% 減で 47 億 7900 万円となり、2011 年度の消費支出超過額は 8700 万円となりました。

## ■貸借対照表■

学校法人の目的である教育研究活動を達成するためには、施設や設備など各種の膨大な運用財産を必要とします。貸借対照表は、これらの財産の保有状況を表し、教育研究に必要な財産が適正に維持・管理されているかどうかを示すものです。その意味でこの貸借対照表は重要であり、消費収支計算書とともに長期的な観点を持つものといえます。

ここでの資産は、保有する土地、建物、現金預金などを示し、負債とは、借入金や退職給与引当金など、いずれ支出となっていくものを示します。基本金は、学校法人が必要な資産を永続的に維持するために、帰属収入のうちから組入れたものです。この基本金と消費収支差額の合計が正味財産となります。

### 貸借対照表の概況

貸借対照表は、大谷大学・大谷大学短期大学部を設置する学校法人真宗大谷学園全体のものを、学校法人真宗大谷学園のホームページで公開しております。学校法人真宗大谷学園は、大谷大学・大谷大学短期大学部のほか、九州大谷短期大学、大谷高等学校、大谷中学校、大谷幼稚園を設置しています。

資産の総額は、496 億 6300 万円で、前年度に比べて 1 億 8900 万円の増加となりました。内訳は、土地、建物、備品、図書および引当特定資産などの固定資産が 403 億 300 万円、現金預金などの流動資産が 93 億 6000 万円となっています。

負債の合計は、42 億 400 万円で、前年度に比べて 2 億 1600 万円の減少となりました。内訳は、退職給与引当金などの固定負債が 28 億 1900 万円、未払金や前受金などの流動負債が 13 億 8500 万円となっています。

基本金は、423 億 7200 万円となり、前年度に比べて 6 億 9200 万円の増加となっています。

詳細は「関連リンク集」にあります「真宗大谷学園貸借対照表」をご覧ください。「財産目録」についても学園全体のものを公開しておりますので、あわせてご覧ください。

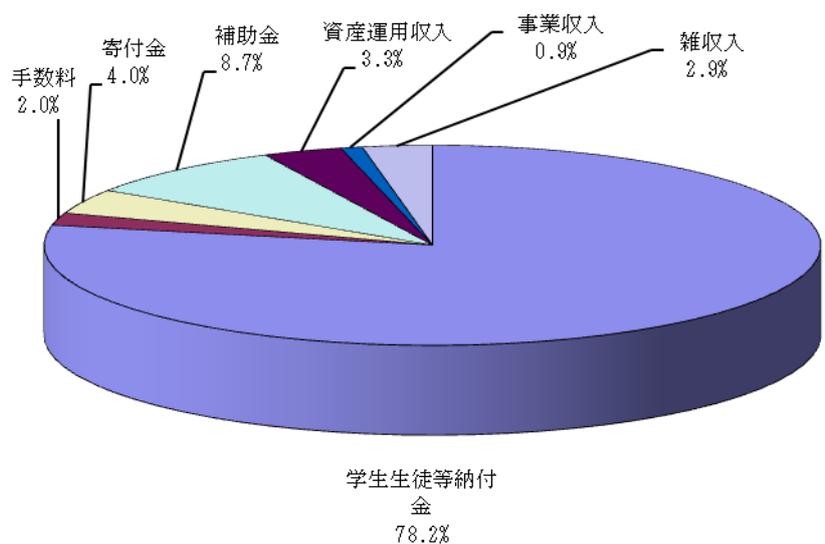
## 2011年度消費収支計算書

(2011年4月1日～2012年3月31日)

(単位 円)

消費収入の部		消費支出の部	
科目	金額	科目	金額
学生生徒等納付金	3,958,444,000	人件費	2,620,375,915
手数料	101,564,200	教育研究経費	1,671,721,907
寄付金	202,571,178	(うち減価償却額)	(550,692,806)
補助金	438,827,050	管理経費	447,620,780
国庫補助金	438,504,000	(うち減価償却額)	(22,346,654)
地方公共団体補助金	323,050	借入金等利息	20,997,900
資産運用収入	167,504,898	分担金	12,000,000
事業収入	43,236,326	資産処分差額	6,751,561
雑収入	146,805,580	消費支出の部合計	4,779,468,063
帰属収入合計	5,058,953,232	当年度消費支出超過額	86,668,703
基本金組入額合計	△ 366,153,872	前年度繰越消費収入超過額	3,566,432,293
消費収入の部合計	4,692,799,360	翌年度繰越消費収入超過額	3,479,763,590

■ 2011 年度帰属収入の構成比率



■ 2011 年度消費支出の構成比率

